

# 1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2009年10月21日 No.7

宮崎県都城市

署名4万人超える

## 数千人の区長うごく

「核兵器のない世界をめざす17万市民への署名のお願い」が発表され、全市民を対象に署名をとりくんでいる宮崎県都城市では、4人に1人にあたる4万人から署名が寄せられています。

市長はじめ6人いる呼びかけ人のひとりで、日中友好協会支部長の来住新平(らいじゅう・しんぺい)さんのインタビューを紹介します。(聞き手=毛利泰之・宮崎県原水協事務局長)

毛利 署名の到達点は?

来住 4万筆を超えました。

8月に都城市長をはじめ、6名で「核兵器のない世界をめざす・17万市民への署名のお願い」を発表したとき、市長も呼びかけ人の一人だから「それなりに」署名も集まるだろうと思っていました。市民の1割かなと。

毛利 4万を超える署名が集まった要因は?

来住 今年の原水爆禁止世界大会が終わってからの、この2ヶ月、核兵器廃絶をめざす動きが、マスコミで取り上げられていますね。

ひとつが、核兵器廃絶の世論ですね。

国連安全保障理事会での「核兵器のない世界への一致」、鳩山首相も国連で、被爆国として核兵器廃絶を、そして、非核三原則の堅持などを宣言と、毎日のようにマスコミが取り上げている。このことから、署名をする人達も「今が廃絶のチャンスですね」「国連に提出するのですか」と、好意的かつ署名に積極的です。

ふたつめが、区長さんたちの地道な活動です。

この都城市での署名活動は、まず300の公民館に署名が届けられ、そこから、5000~6000ともいわれる自治会におろされ、回覧板で各家庭に署名用紙が回覧されます。

ですから、数千人の区長さんがこのために動いているということです。

そして、この署名の提出先の文字に赤線をひいたりして、重要性を喚起しています。

署名の回収状況は、300公民館のうち150近くの公民館で回収が終わったところです。

この署名運動は10月までとなっていますから、まだ、現在進行中なのです。

毛利 今後の運動について、

来住 11月のはじめに、市長、被爆者団体の会長、私が話し合うことになっています。

この署名実施に当たってのお礼文と都城市の代表をニューヨークに送り出す話し合いをすることにしています。



来住新平さん

